

教材教具名	ビー玉プットイン	分類	操作の学習一目と手の協応
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビー玉を押し入れることができる。</li> <li>・集中力を保ちながら最後まで活動する。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・ビー玉を枠の中に一つずつ入れておく。一つずつビー玉を穴に押し入れる。

<材料>

- ・ビー玉、板、プラスチック容器、カラーボード、空箱

<工夫点>

- ・ビー玉を一つずつ枠に入れて提示した。容器やビー玉入れを板に固定し、動かないようにした。

<効果>

- ・一つずつビー玉を取り出して、プットインすることができた。利き手ではない手が上手く使えなくても、安定して活動できた。

教材教員名	プットイン型リング通し	分類	操作の学習一目と手の協応
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リングを1つずつ棒に通すことができる。</li> <li>・最後まで集中して活動する。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・リングを一つずつ棒に通し、最後に穴にプットインする。

<材料>

- ・板、カップラーメンの容器、突っ張り棒（小）、カーテンリング

<工夫点>

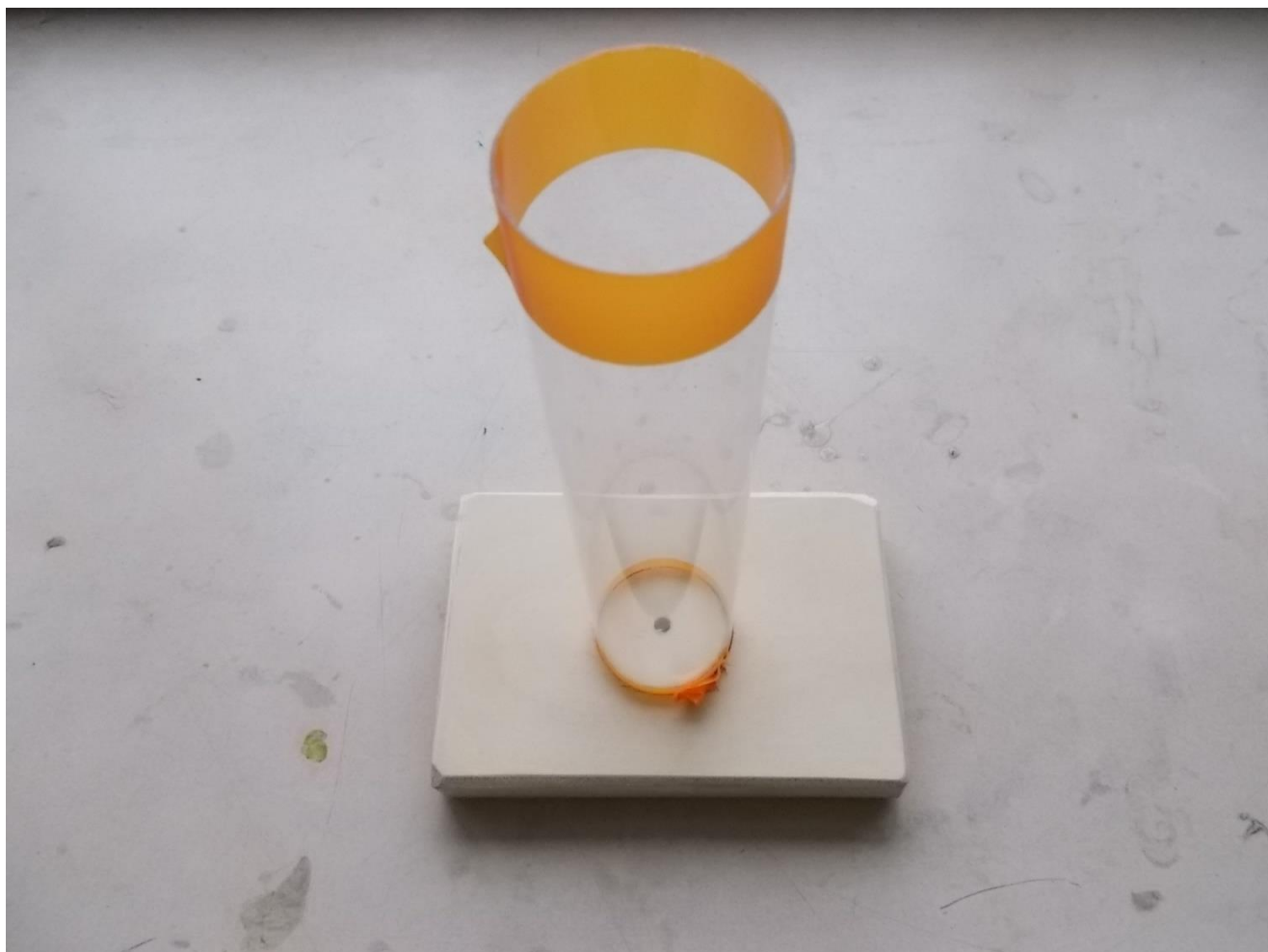
- ・リングに通した後に穴に落とすことで「終わり」が分かりやすいようにした。

<効果>

- ・通したリングを気にすることなく、次のリングを通すことができた。
- ・課題の終わりが分かり、最後まで集中して取り組むことができた。

教材教員名	球入れ	分類	操作の学習一目と手の協応
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目と手の協応</li> <li>・対象物（ピンポン球）を追視することができる。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・筒にピンポン球を入れていきます。

<材料>

- ・ひも、玉（夏季休業中に開催された、筑波大付属大塚特別支援学校の教材教具作りの研修で作ったものです。毎月 1 回教材作りを開催しているとのこと）

<工夫点>

- ・線は引いてませんが、球が 5 個、10 個それぞれ入れられる筒があり、数字の学習もできます。

<効果>

- ・球に色を塗ったりシールを貼ったりすると、意欲をもって行うことができました。
- ・グラウンドで走っているときに、終わりが分かるためにこの教材を使ったことがあります。洗濯ばさみなど他の方法も試しましたが、この教材がもっとも理解できた経験がありました。

教材教具名	プットイン (マジックテープ)	分類	操作の学習一目と手の協応
		授業名	個別課題学習(小学部)
ねらい	・手先の巧緻性、目と手の巧緻性。		

教材教具の概要(使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- ・マジックテープをはがし、容器にプットインする。

<材料>

- ・マジックテープ ・タッパー ・透明の下敷きなど(台紙になるもの)

<工夫点>

- ・細々したものは遊んでしまうため、マジックテープにした。

<効果>

- ・マジックテープをはがしたり、プットインをしたりすることで、手元を見る力や手指の巧緻性が高まった。

教材教具名	プットイン (マジックテープ)	分類	操作の学習一目と手の協応
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	・手先の巧緻性、目と手の巧緻性。		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- ・マジックテープをはがし、容器にプットインする。

<材料>

- ・マジックテープ ・タッパー ・透明の下敷きなど (台紙になるもの)

<工夫点>

- ・細々したものは遊んでしまうため、マジックテープにした。

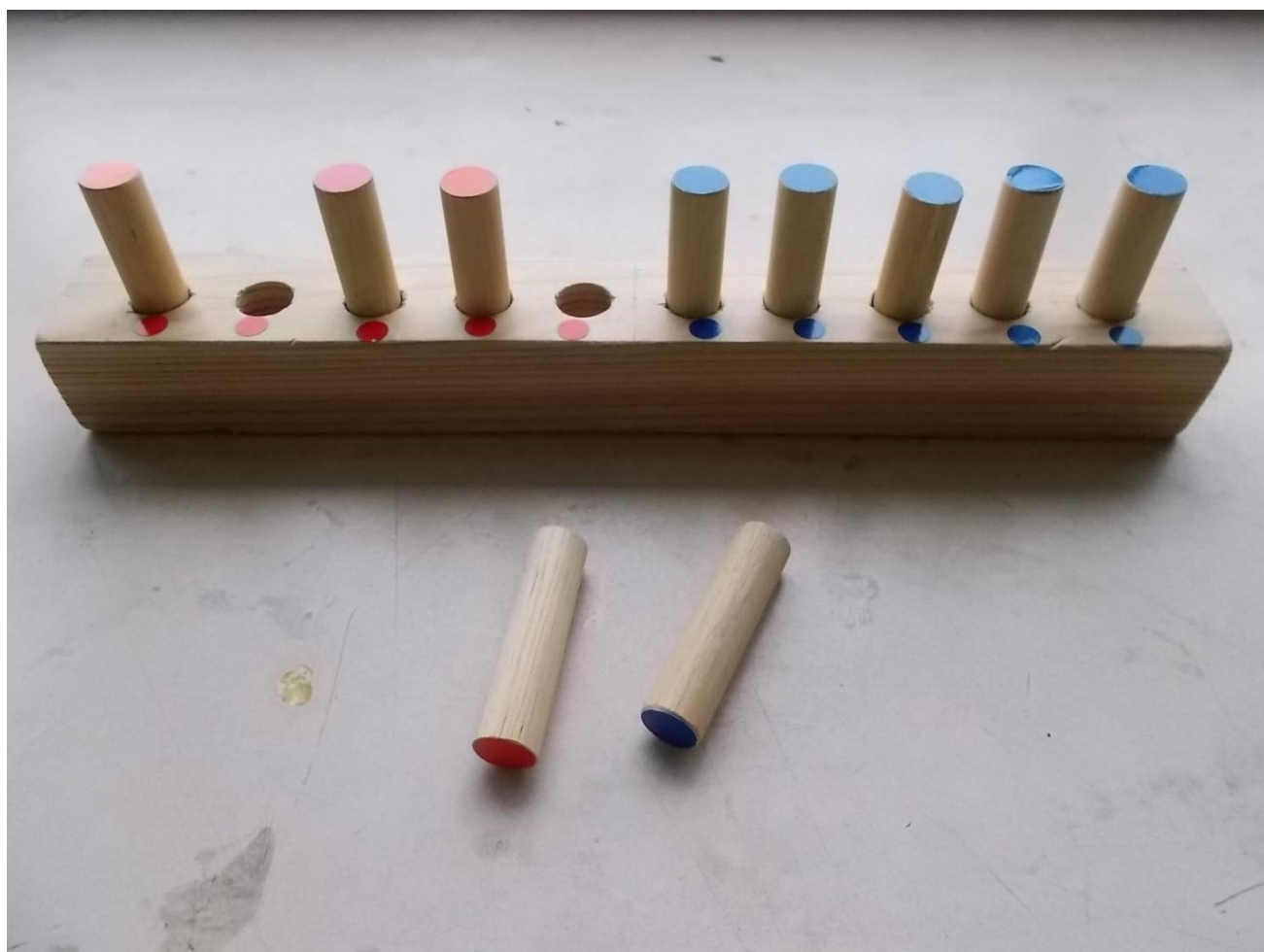
<効果>

- ・マジックテープをはがしたり、プットインをしたりすることで、手元を見る力や手指の巧緻性が高まった。



教材教員名	ペグ差し	分類	操作の学習一目と手の協応
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目と手の協応</li> <li>・色のマッチング</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・台の色と同じ側のペグを差していきます。

<材料>

- ・筑波大学大塚附属特別支援学校の研修で作ったものです。

<工夫点>

- ・色シールは実態に合わせて応用したものなので、最初はなくてもいいと思います。
- ・シールに数字を付けていけば数字の順番に差していく、など応用もできます。

<効果>

- ・違った色のペグを差しておくと、アセスメントのときにやるような、片手で向きを持ち替えて差し直すことができた生徒もいました。

教材教員名	リングのプットイン	分類	操作の学習－目と手の協応
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・リングを外してから、容器に入れることができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・つながったリングを外し、プットインする。

<材料>

- ・タッパーなどの容器、リング（西松屋）

<工夫点>

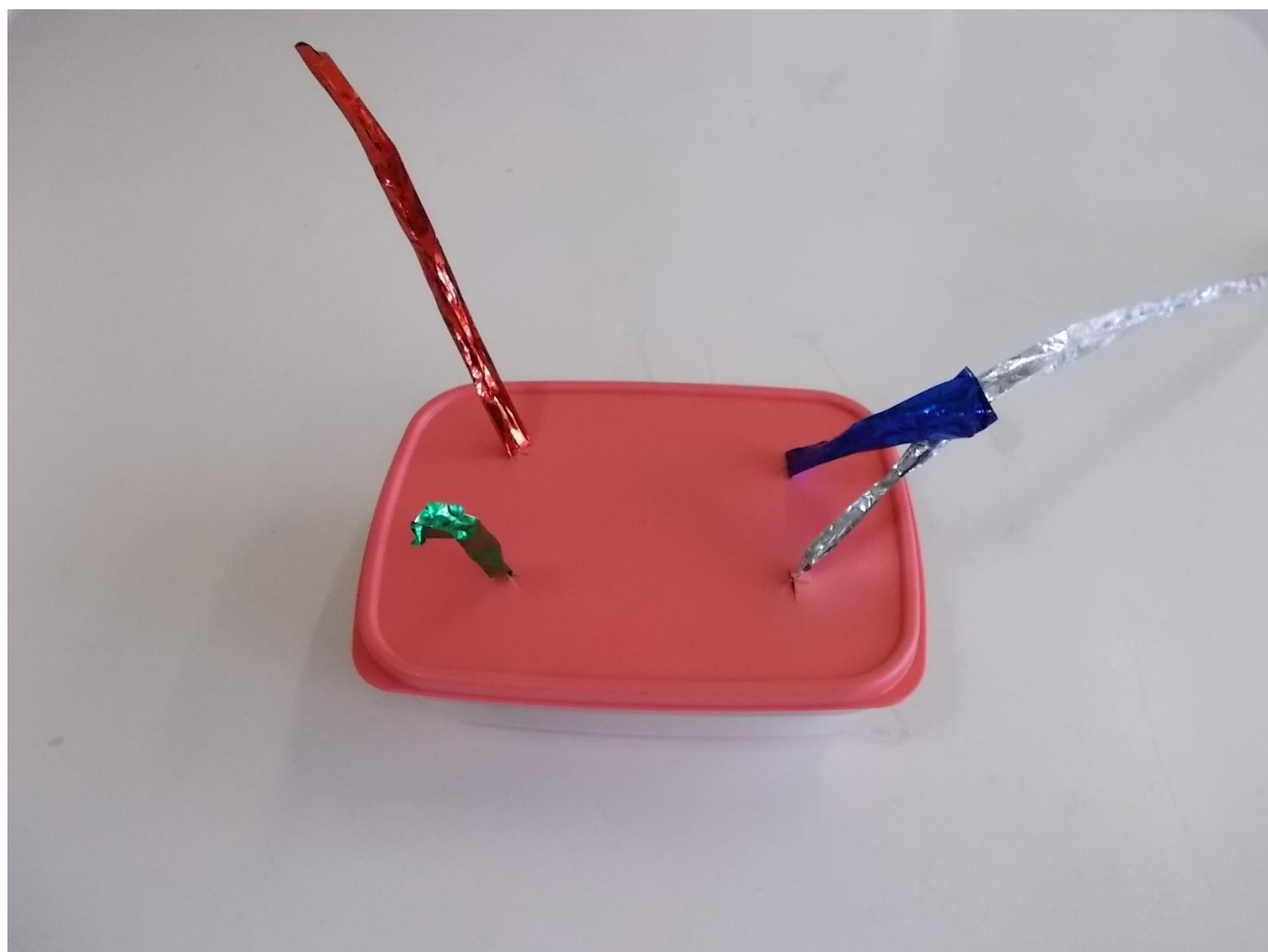
- ・プットインの前にリングを外すという工程を入れ難易度をあげた。

<効果>

- ・プットインの前に一工程入れたことで、より手元に集中できるようになった。

教材教員名	ひっぱって出そう	分類	操作の学習一目と手の協応
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・「引く」という動きを身に付ける。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・きらきらテープを引っ張って出す。

<材料>

- ・きらきらテープ ・タッパー

<工夫点>

- ・きらきらのひもを使って興味関心をもたせた。

<効果>

- ・手指の巧緻性にもつながった。きらきらテープを見ると意欲的に取り組めた。



教材教員名	引っこ抜く	分類	操作の学習一目と手の協応
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・ ペットボトルをおさえながら、引き出すことができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・ ペットボトルからひもを引っ張って、抜き出す。

<材料>

- ・ ペットボトル、フェルト、綿、ひも

<工夫点>

- ・ 綿をきつめに入れ、引き抜くとポンッと音が鳴るようにした。

<効果>

- ・ 多少力が必要なので、はじめは難しそうだったが、慣れてくるとペットボトルをおさえて、引き出すことができるようになった。

教材教員名	マジックテープはがし	分類	操作の学習一目と手の協応
		授業名	国語・数学・自立活動（高等部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>マジックテープのしくみを理解する。</li> <li>一人で靴を脱げるようにするためのスモールステップ。</li> </ul>		

### 教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



#### <使用方法>

- ・「はがして」という言葉かけに応じて、4本のマジックテープをはがして蓋を開けさせる。

#### <材料>

- ・プラスチックケース、マジックテープ、ビニールテープ、わりばし

#### <工夫点>

- ・プラスチックケースを靴に見立てて、マジックテープのはがす部分を側面にした。
- ・一度はがしたマジックテープが、元に戻らないように両面マジックテープにした。

#### <効果>

- ・透明のケースに本人の興味があるものを入れることで、「開けたい」という意欲を引き出すことができた。

教材教員名	くだものの木	分類	操作の学習一目と手の協応
		授業名	生活（小学部）
ねらい	・マジックテープでついている果物の模型をつかんで、はがすことができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・果物の模型（マジックテープ付）を手でつかんでとる。

<材料>

- ・フェルト、マジックテープ、ダンボール

<工夫点>

- ・掴みやすいように、子どもの手のひらサイズで果物の模型を作った。
- ・果物をつける高さを子どもの視線に合わせて、調整した。
- ・「もぎとる」ときの抵抗感を味わってほしかったので、マジックテープを使用し、とるときに力を入れられるようにした。

<効果>

- ・果物の模型を子どもの手のひら大にすることで、片手で掴んで、とることができた。
- ・複数の果物の中から、自分の取りたいものを選んでとる姿が見られた。

教材教具名	バックル連結	分類	操作の学習一目と手の協応
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手指の巧緻性を高める。</li> <li>• 日常生活で活用できる力をつける。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 電車を連結させるように、バックルをとめる。または、外す。

<材料>

- フェルト、バックル

<工夫点>

- 電車が好きな児童の実態に合わせて作成した。

<効果>

- 電車をモチーフにすることでつなげるということが分かり、一人で取り組むことができた。

教材教員名	バックル外しの練習	分類	操作の学習一目と手の協応
		授業名	国語・数学（中学部）
ねらい	・リュックのバックルを自分で外すことができる。		

### 教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



#### <使用方法>

- ・上から順番に外していく。1・2回目はリングに指をかけて練習し、3回目はリングなしで練習する。

#### <材料>

- ・ゴム、バックル、エジソン箸のリング（分解したもの）、結束バンド、布、綿、糸

#### <工夫点>

- ・バックルは2種類の色を購入し、2色で1セットになるようにした。
- ・指で押さえるところは、はっきりとした色になるよう、ゴムや布の色を薄いものにした。

#### <効果>

- ・リングを手掛かりに、押さえるところを意識することができた。
- ・バックルは物によっては固いものも多く、取り組みが思うようにいかなかったが、カッターで接着部を削って改善したことで、生徒自身が「外すことができる」と理解し、主体的に取り組むことができた。



教材教員名	ファスナー練習	分類	操作の学習一目と手の協応
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファスナーをとめることができる。</li> <li>・目と手の協応の力をつける。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・ファスナーをひっぱってしめる。

<材料>

- ・布、ファスナー

<工夫点>

- ・机上でできるように作成した。

<効果>

- ・ファスナーの持ち手を大きくするとしめやすい。
- ・やり方がわかってきた。

教材教具名	ゴムかけ	分類	操作の学習一目と手の協応
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・両手を使った活動を増やす。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



＜使用方法＞

- ・筒にゴムをかける

＜材料＞

- ・プラスチックのビン、水筒、シュシュ、スプリングゴム、ヘアゴム

＜工夫点＞

- ・活動への意欲がもてるよう、明るい色を取り入れた。
- ・種類ごとにゴムの強さを変え、難易度が高くなるようにした。
- ・摘みやすいシュシュを最初の取り組みで使った。

＜効果＞

- ・筒いっぱいゴムを通すことで、取り組みながら見通しをもつことができた。
- ・両手を使った活動時間が少しずつ長くなった。

教材教員名	紐通し	分類	操作の学習ーより複雑な操作
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・手指の巧緻性を高める。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・ペットボトルのキャップを紐に通す。

<材料>

- ・ペットボトルのキャップ・紐（固め）

<工夫点>

- ・丸くくりぬかれた木の板にキャップを並べることで活動の見通しを持ちやすくする。

<効果>

- ・最初は5つ通すのも難しかったが、数を重ねると 20 個通すことができるようになった。一段目が終わると、自分で二段目に取り組む姿が見られた。

教材教員名	スナップボタン	分類	操作の学習ーより複雑な操作
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・形と色を合わせて、スナップボタンを留めることができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・スナップボタンの留め外し。

<材料>

- ・フェルト、スナップボタン、裁縫道具

<工夫点>

- ・小さいボタンは難しいため、大き目のボタンを使って作った。

<効果>

- ・形と色を合わせるのは難しいが、スナップボタンは留められるようになってきた。



教材教員名	ボタン通し	分類	操作の学習—より複雑な操作
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手先の巧緻性を高める。</li> <li>• ボタンをとめることができる。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- フェルトの穴にボタンを通す。

<材料>

- フェルト、ボタン、糸、布、ゴム

<工夫点>

- 糸ではなくゴムでボタンがつながっているため、ボタンが通しやすい。

<効果>

- まだ難しかったため、ゴムを長くしたり穴を大きくしたりしたボタン教材に取り組んでいます。



教材教具名	ボタン留め	分類	操作の学習ーより複雑な操作
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・ ボタンの留め外しができる		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・ 机上でボタンの留め外しを行う。
- ・ 指先の動きが出来てきたら着用する。

<材料>

- ・ ボタンがついている洋服
- ・ Yシャツ

<工夫点>

- ・ ボタンの大きさが違う2着を用意した。

<効果>

- ・ 繰り返し取り組み、ボタンの留め外しができるようになった。

教材教員名	ボタン留め・畳みの教材	分類	操作の学習ーより複雑な操作
		授業名	国語・数学 個別課題学習（中学部）
ねらい	・ボタンはめや畳むことが課題の生徒に、はめる練習と畳む練習を繰り返し行わせて、習得させる。		

### 教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



#### <使用方法>

- ・ボタンを上から留めて、畳む。畳みはパターンを覚えさせる。

#### <材料>

- ・シャツ、段ボール

#### <工夫点>

- ・指先に力がなく、力を入れたり抜いたりうまくできない。また、指先をうまく動かせないことが大きな要因と考えているので、紐の型結びや大小の物の紐通し、洗濯ばさみの課題などを同時に行っている。

#### <効果>

- ・前段階で大きいボタンの服から行っていて、給食の前後でもボタンの付け外しは毎日行っている。その大きさのボタンはできてきているので、徐々に小さいボタンの服にしている、現在シャツで行っている。畳みも日常の着替えで同じように行えている。今後は着ている状態での留め外しを目標にしている。

教材教員名	醤油さしの分類	分類	操作の学習—より複雑な操作
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>つまむ、回すの動きを通して手指の巧緻性を高める。</li> <li>見本と同じように分類できるようにする。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・醤油さしを開け、ふたとたれびんをそれぞれケースに入れる。

<材料>

- ・ケース×3、醤油さし、見本カード

<工夫点>

- ・やることを分かりやすくするために、つくりをシンプルなものにした。

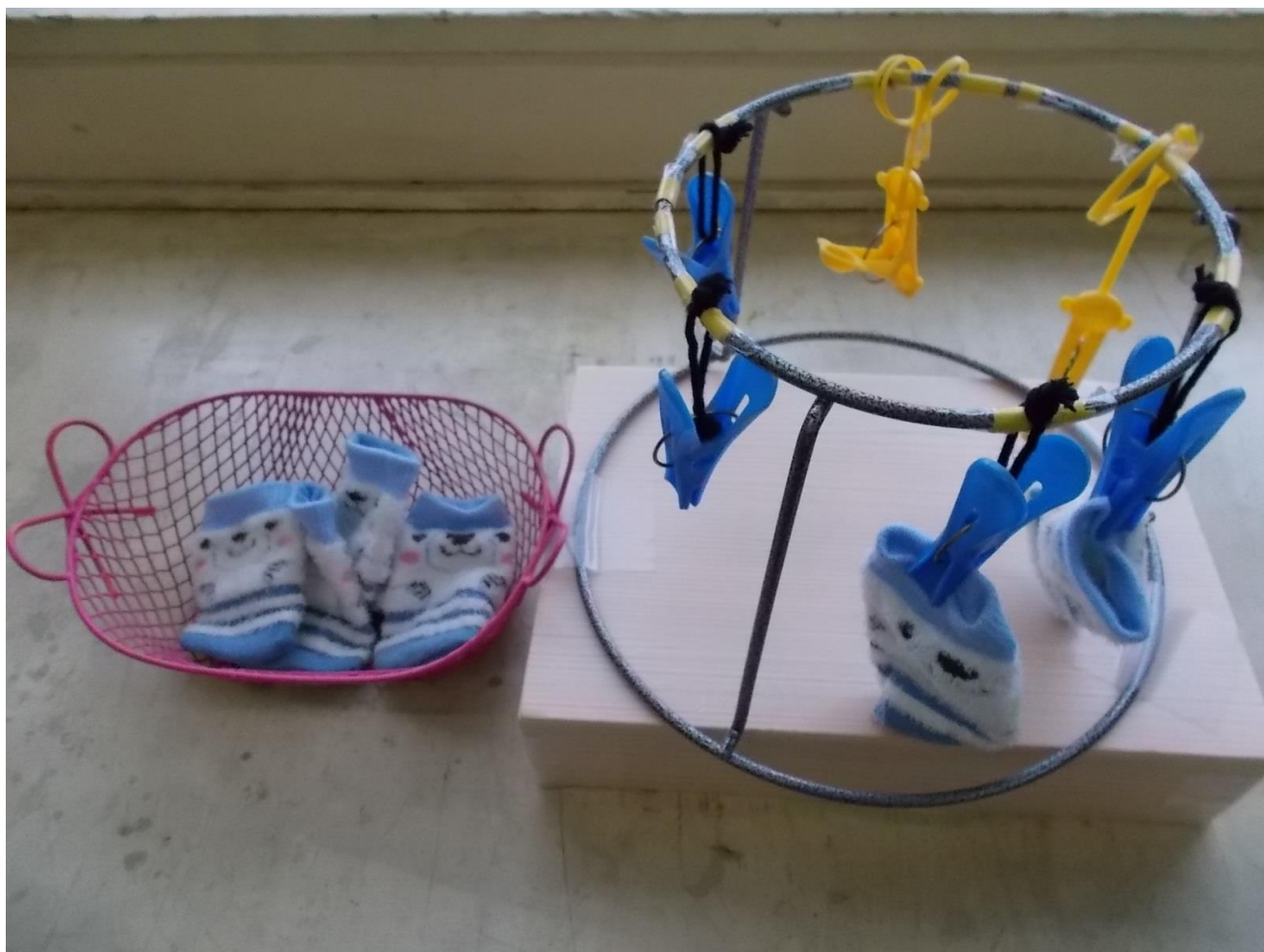
<効果>

- ・不器用さのある児童だったが、課題を繰り返すことで、直径5ミリ未満の細かいふたを回し外すことがスムーズになった。



教材教員名	洗濯物干し	分類	操作の学習ーより複雑な操作
		授業名	国語・数学 個別課題学習（中学部）
ねらい	・洗濯ばさみではさむことができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・教材を提示して、洗濯物を干す。

<材料>

- ・とじひも 洗濯ばさみ 椅子カバー 靴下を入れるケース 園芸用プランタースタンド

<工夫点>

- ・机に置いてみると、生徒の視線よりも洗濯ばさみが低かったので、空き箱をつけて高さをつけました。

<効果>

- ・はさむ場所がバラバラで、落ちてしまうことがあったが、挟む場所に印をつけたり、わかりやすい柄や色のものを使用することで、しっかりとはさむことができるようになった。
- ・洗濯ばさみは少ない力でも、大きく開くことができものを使用した。

教材教員名	スプーンの練習	分類	操作の学習ーより複雑な操作
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・スプーンを使う技術の向上を目指す。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・スプーンを使ってマカロニをお皿から別の容器に移す。

<材料>

- ・スプーン・マカロニ（乾燥）・すくいやすいお皿・タッパー

<工夫点>

- ・成功体験を得られるように、すくいやすい重さ、形のマカロニを選択した。

<効果>

- ・勢いよくスプーンを入れてマカロニをこぼすことがあったが、最後の一粒までスプーンを使うことができるようになった。



教材教員名	トングの練習	分類	操作の学習ーより複雑な操作
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手指の巧緻性を高める</li> <li>・箸の前段階の学習</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・トングを使って、小さい消しゴムをつまみ、隣の容器に移動させる。
- ・トングの持ち方は、実態に応じてよい。

<材料>

- ・トング ・消しゴム ・容器

<工夫点>

- ・トングの大きさやバネの強さを実態に合ったものを用意した。

<効果>

- ・箸の持ち方で練習をしたことで、箸の練習につながった。

教材教具名	箸の練習	分類	操作の学習ーより複雑な操作
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・箸で物をつまむことができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



＜使用方法＞

- ・練習箸を使って、デコレーションボール等をつまんで別の容器に移す。

＜材料＞

- ・練習箸、お箸サポート、デコレーションボール、アイスキューブ、製氷皿、タッパー、ケース

＜工夫点＞

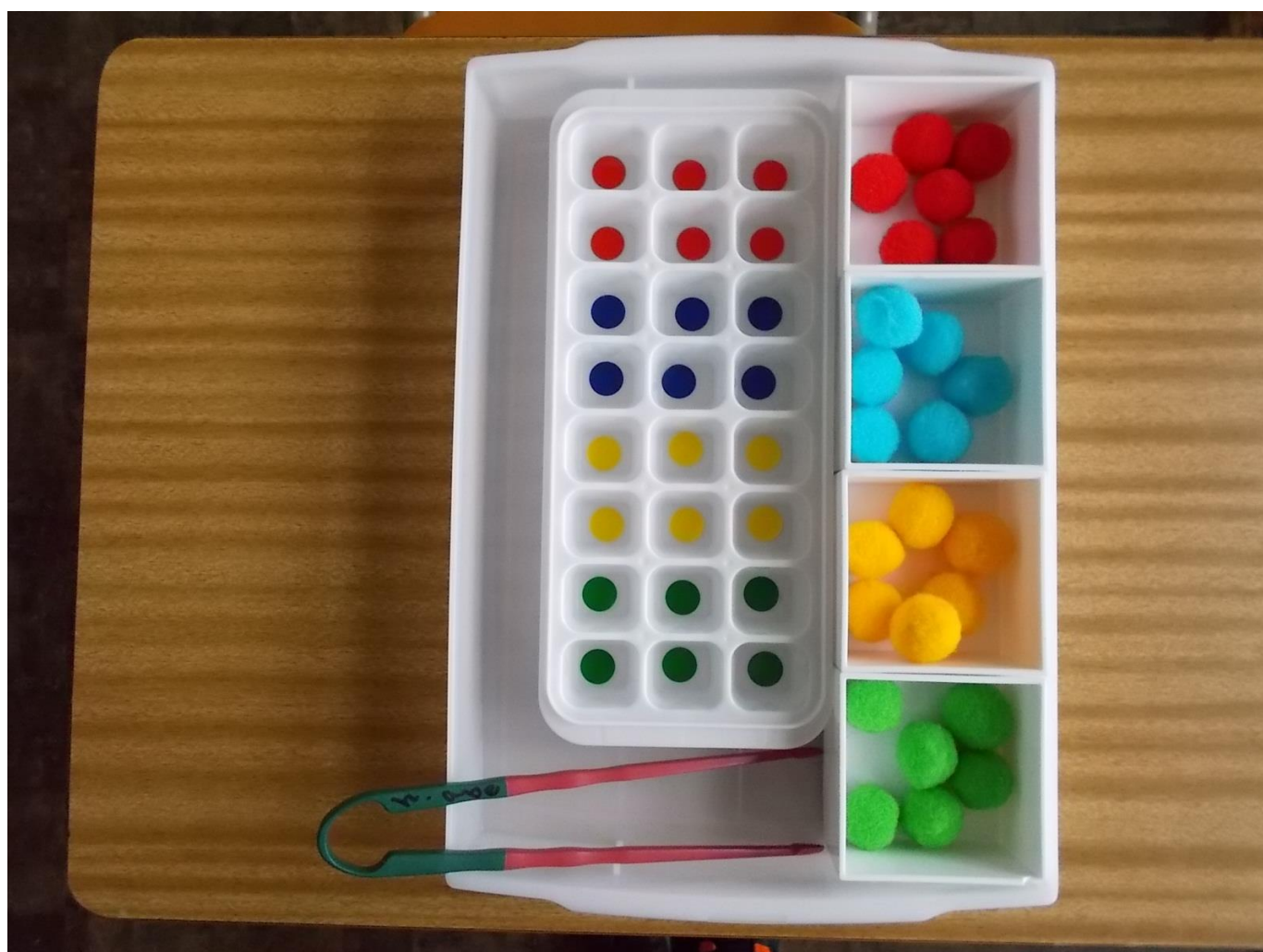
- ・本児の手の大きさに合った長さの箸を使用した。
- ・重みがあるアイスキューブを使用し、しっかりつまめるようにした。

＜効果＞

- ・デコレーションボール、アイスキューブ共に色別、種類別にトレーに移すことができた。

教材教員名	箸の練習	分類	操作の学習ーより複雑な操作
		授業名	国語・数学（中学部）
ねらい	・手指の巧緻性を高める。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・バリアフリー箸を使って、デコレーションボールをつまんでケースの指定された色の場所に入れていく。

<材料>

- ・箸、タッパ、デコレーションボール、色シール

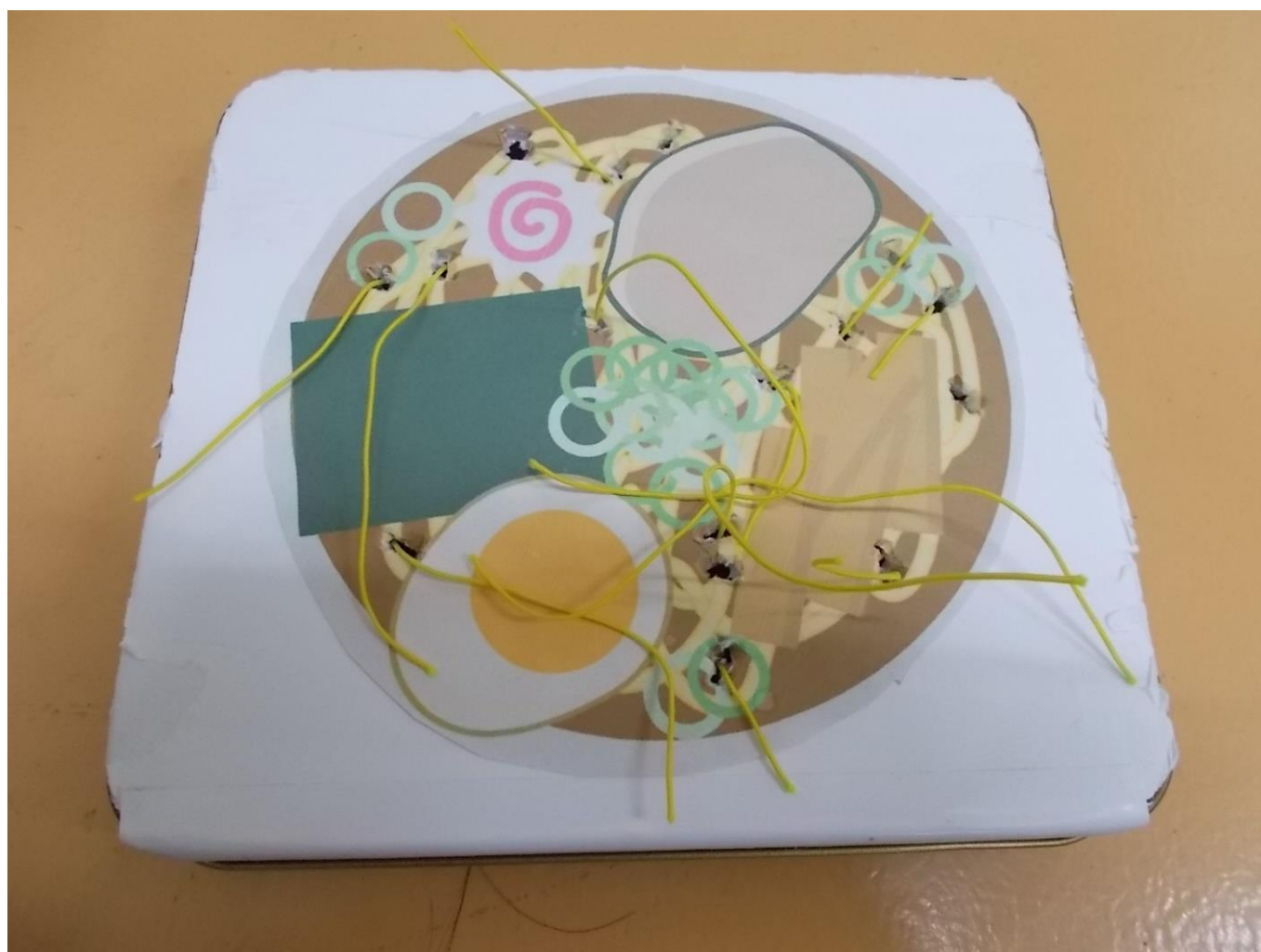
<効果>

- ・色ごとに一つずつ箸を使って入れていくことで、箸の練習をすることができた。



教材教具名	箸の練習	分類	操作の学習ーより複雑な操作
		授業名	国語・数学（中学部）
ねらい	・箸の練習に意欲を持つ。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・テグスを箸でつまんでとる。

<材料>

- ・テグス、ラーメンのイラスト、スポンジシート、缶エジソン箸。

<工夫点>

- ・生徒の好きなラーメンのイラストで意欲を持てるようにする。テグスの長さを様々にして引く長さを変える。

<効果>

- ・手指の巧緻性の向上。

教材教具名	カラー輪ゴムかけ	分類	操作の学習ーより複雑な操作
		授業名	国語・数学（中学部）
ねらい	・ カラーゴムの色分け、ゴムを伸ばしてかける。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・ すべてのダボに正しく 4 色の輪ゴムを色分けしつつかけていく。

<材料>

- ・ かご、ダボ、ダボの刺さる板、カラー輪ゴム

<工夫点>

- ・ 一番初めの輪ゴムをあらかじめかけておき、分類する色がわかるようにする。また、どのように輪ゴムをかけるか、一目でわかるようにする。

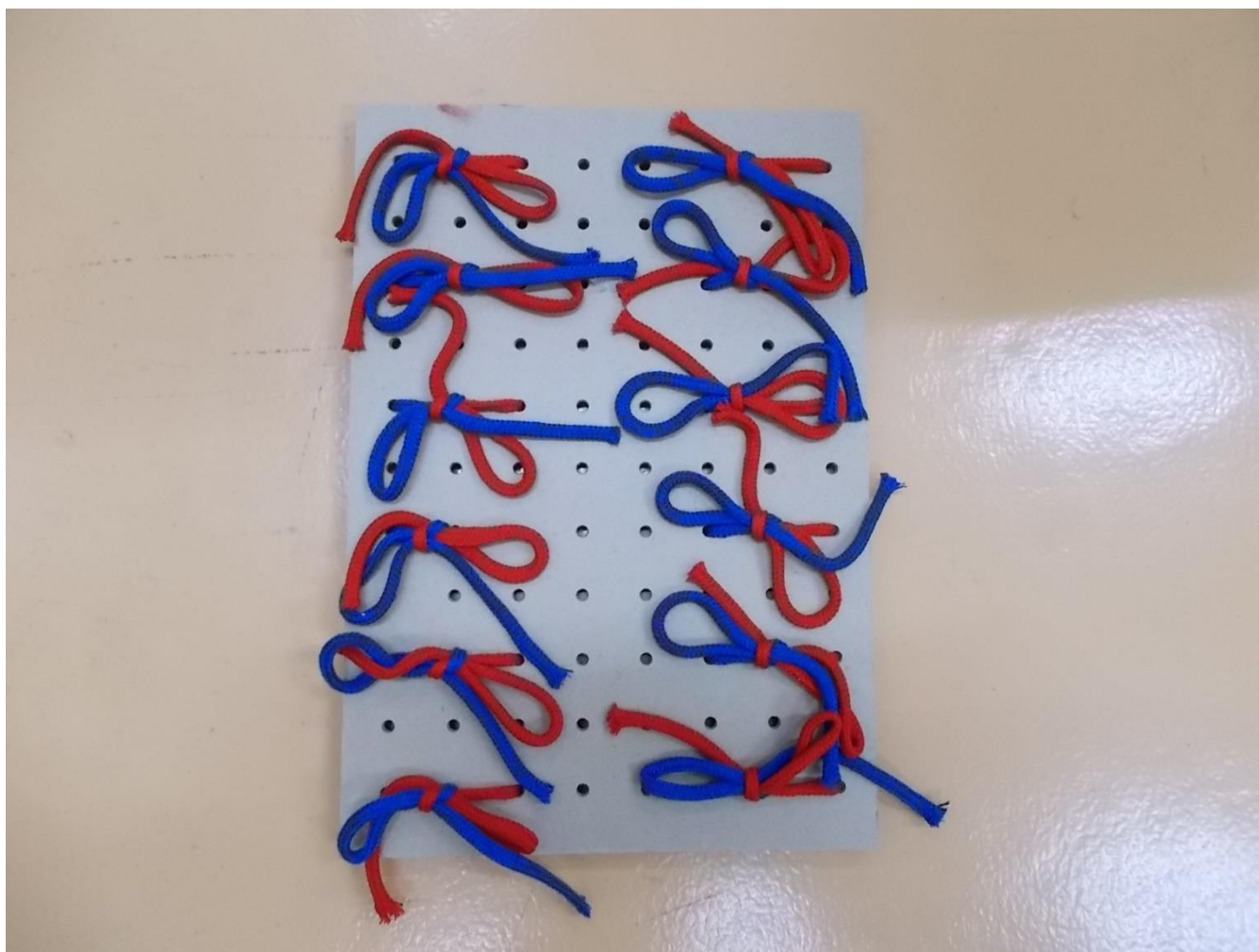
<効果>

- ・ 色分け、微細運動に取り組むことができた



教材教員名	リボン結び	分類	操作の学習ーより複雑な操作
		授業名	個別課題学習（高等部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リボン結びの練習をする。</li> <li>・手指の巧緻性を高める。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・赤と青のひもを片手ずつとり、リボン結びを繰り返していく。

<材料>

- ・赤いひも、青いひも、板

<工夫点>

- ・赤と青のひもを使うことで、ひもの動きが目で見えてわかりやすい。

<効果>

- ・ひもの色を変えることでスモールステップで練習ができる。  
繰り返し練習することができる。

教材教員名	靴紐結び	分類	操作の学習ーより複雑な操作
		授業名	国語・数学（高等部）
ねらい	・靴紐の蝶結びができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・机上で靴紐結びをしたり、実際に履いて靴紐結びをしたりします。

<材料>

- ・赤と青の靴紐、運動靴

<工夫点>

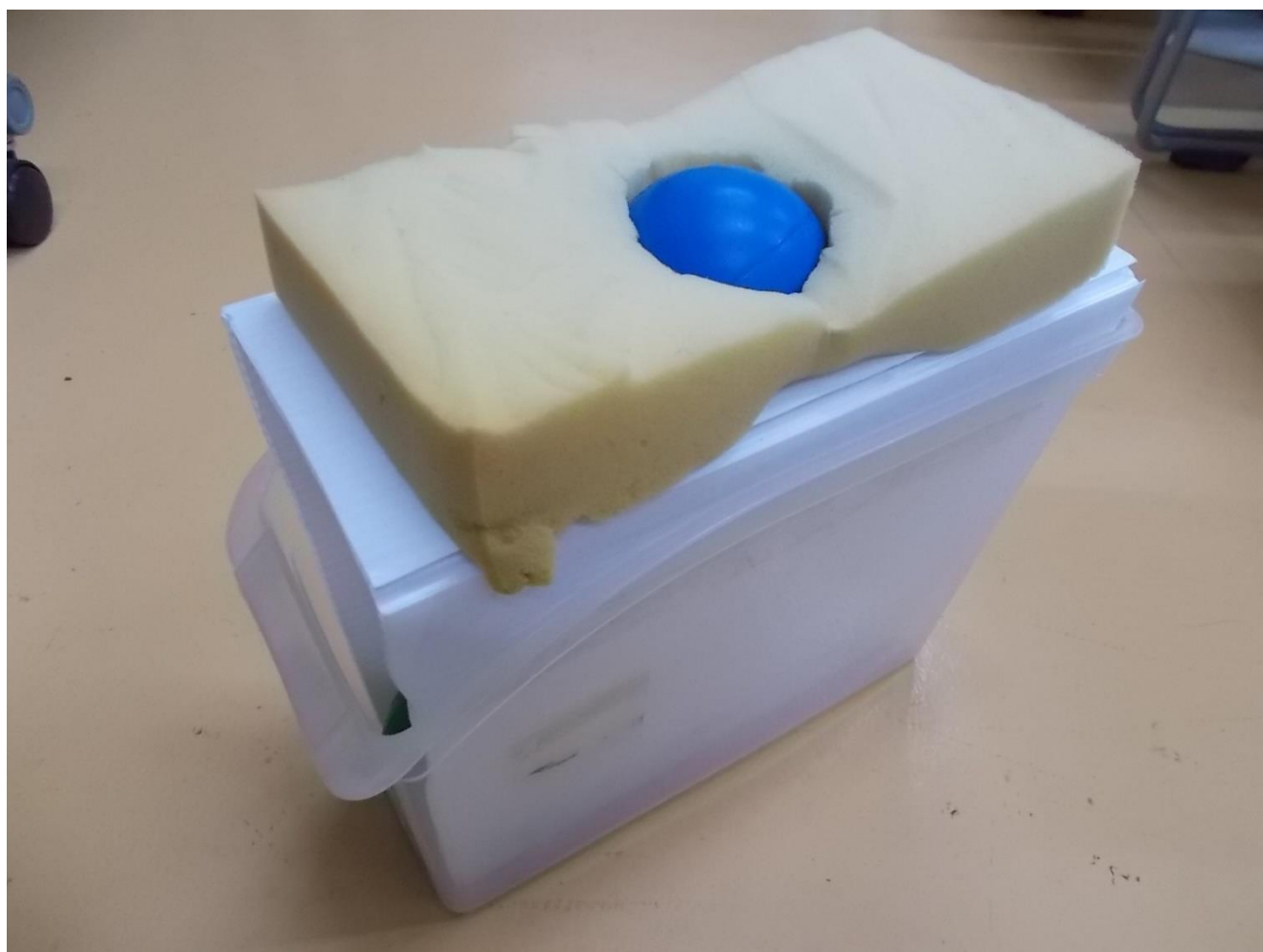
- ・結ぶ2本の紐を色違いにしています。

<効果>

- ・靴紐の色が違うことにより、紐がある程度結びやすくなった。

教材教員名	ボールウォッシャー	分類	操作の学習－工程の作業
		授業名	校内実習（高等部）
ねらい	・ボール拭きの作業を自立して行える。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・ウレタンを霧吹きで水をかけて濡らしておく。

<材料>

- ・プラスチックケース、ウレタン、プラスチックダンボール、両面テープ

<工夫点>

- ・押し込むことでボールが拭き上げられるサイズの穴をあけた。

<効果>

- ・プットインができる生徒が自立して行える作業となった。

教材教員名	クラフトパンチの自助具	分類	操作の学習ー工程の作業
		授業名	個別課題学習
ねらい	・押すとパンチされ、紙が出てくる因果関係の学習		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・紙をセットする。
- ・パンチングをすると、受け皿にパンチされた紙が出てくる。  
複数たまったら、取り出す。

<材料>

- ・メガクラフトパンチ、ウッドボックス、ベニア、フロアマット、プラスチックケース（紙ナフキン入れ）

<工夫点>

- ・パンチされた紙が滑り出すようにしたことで、操作と結果の因果関係をわかりやすくした。

<効果>



教材教具名	色・数の分類	分類	操作の学習－文字数字を扱う作業
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・文字を読んで、フェルトボールを正しく選び取ることができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・袋に書かれている文字を読み、フェルトボールを袋詰めする。

<材料>

- ・フェルトボール（4色）、チャック付きビニール袋、文字シート（写真シート）

<工夫点>

- ・文字シートをめくったところに写真シートを貼り、答え合わせができるようにした。

<効果>

- ・答え合わせができることで、自分で正誤に気付き、直すことができた。

教材教員名	消しゴムの組み立て カテゴリー分け	分類	操作の学習—文字数字を扱う作業
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手順書を見ながら作業することができる。</li> <li>・写真と同じ消しゴムを組み立てることができる。</li> <li>・物の名称を理解することができる。</li> <li>・組み立てた消しゴムを仲間分けすることができる。</li> </ul>		

### 教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



#### <使用方法>

- ・見本と同じように消しゴムを組み立てる。袋に入れる。
- ・組み立てた消しゴムを仲間分けする。袋に入れる。
- ・教員と一緒に、正しく組み立てているか、仲間分けできているか、物の名称の確認をする。全て終わったらケースにしまう。

#### <工夫点>

- ・作業課題として取り組ませたかったので、これまでに行ってきたものを合わせて行った。
- ・回数を重ねるごとに、量や難しいものを入れたり、ステップアップして行った。

#### <効果>

- ・集中して課題に取り組むことができた。
- ・知らなかった物の名称を覚えることができた。

教材教員名	プチブロックの組み立て	分類	操作の学習—文字数字を扱う作業
		授業名	余暇
ねらい	・少し難しいブロックを自分で組み立てる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・手順表を見ながら、手順と同じ番号のケースの蓋をあけて組み立てていく

<材料>

- ・プチブロック、ピルケース、書類ケース、ラミネートシート、リング

<工夫点>

- ・細かいブロックをあらかじめ手順に合わせて分類しておくことで、取り組みやすくした。

<効果>